

専任教員の実務経験

氏名	資格・実務経験	教育科目
小濱 公次	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 あはき養成施設教員資格 病院および治療院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加	東洋医学概論(新) メディカルトレーナー概論・実技(新) 生理学Ⅱ 病理学 はりきゅう総合Ⅱ、Ⅴ
住吉 光輝	はり師・きゅう師 あはき養成施設教員資格 病院および治療院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 全日本鍼灸マッサージ師会 本会員 鹿児島県鍼灸マッサージ師会 本会員	はり・きゅう理論Ⅰ(新) 経絡経穴概論Ⅰ(新) 基礎はり実技(新) はり・きゅう理論 経絡経穴概論Ⅱ 東洋医学臨床論Ⅲ 臨床はり・きゅう実習Ⅱ 臨床実習
原 奈摘美	はり師・きゅう師 あはき養成施設教員資格 病院および治療院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 全日本鍼灸マッサージ師会 本会員 鹿児島県鍼灸マッサージ師会 本会員	衛生学(新) 基礎きゅう実技(新) 東洋医学臨床論Ⅰ 臨床はり・きゅう実習Ⅱ 臨床実習 はりきゅう総合Ⅰ、Ⅱ
崎野 雄樹	はり師・きゅう師 あはき養成施設教員資格 病院および治療院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加	臨床医学総論Ⅰ(新) メディカルトレーナー概論・実技(新) 解剖学Ⅱ 臨床医学総論Ⅱ リハビリテーション医学 病態生理学 生態観察 臨床はり・きゅう実習Ⅰ はりきゅう総合Ⅱ
益山 智哉	はり師・きゅう師 あはき養成施設教員資格 病院および治療院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本鍼灸師会 本会員 鹿児島県鍼灸師会 本会員	生理学Ⅰ(新) 関係法規 社会保障制度と倫理 応用はり・きゅう実習Ⅰ はりきゅう総合Ⅱ
保坂 秀樹	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 あはき養成施設教員資格 病院および治療院における臨床5年以上 全日本鍼灸マッサージ師会 本会員 鹿児島県鍼灸マッサージ師会 本会員	臨床医学各論Ⅱ 東洋医学臨床論Ⅱ 応用はり・きゅう実習Ⅱ

はり・きゅう学科(3年生) 旧カリキュラム

専門課程(医療分野)

教育課程及び授業時数										
科目区分	授業科目	規定 単位	計 画 単位(時間)	1学年 単位(時間)	2学年 単位(時間)	3学年 単位(時間)	実務			
基礎分野	医療心理学 *1	14	2(30)	2(30)						
	情報科学概論		2(30)	2(30)						
	医療英語		4(60)	4(60)						
	保健体育		2(60)	2(60)						
	経営学概論		4(60)	4(60)						
	小 計	14	14(240)	14(240)						
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	I	4(120)	4(120)					
			II	2(60)			2(60)	○		
		生理学	I	4(120)	4(120)				○	
			II	2(60)				2(60)	○	
	人体の構造と機能 *2			2(60)		2(60)				
	疾病の成り立ち、 予防及び回復の促進	病理学			2(60)		2(60)		○	
		臨床医学総論	I	1(30)	1(30)				○	
			II	1(30)		1(30)			○	
		臨床医学各論	I	2(60)		2(60)				
			II	2(60)				2(60)	○	
		リハビリテーション医学			2(60)		2(60)		○	
	衛生学			2(60)	2(60)			○		
	保健医療福祉と はり及びきゅうの理念	関係法規			1(30)			1(30)	○	
		医療概論			1(30)			1(30)		
		社会保障制度と倫理			1(30)			1(30)	○	
	小 計		27	29(870)	11(330)	9(270)	9(270)			
	専門分野	基礎はり学 基礎きゅう学	はりきゅう理論			2(60)		2(60)		○
			東洋医学概論			4(120)	4(120)			○
経絡経穴概論			I	2(60)	2(60)				○	
			II	2(60)		2(60)			○	
臨床はり学 臨床きゅう学		病態生理学			1(30)			1(30)	○	
		生態観察			2(60)		2(60)		○	
		東洋医学臨床論	I	4(120)		4(120)			○	
			II*3	4(120)		4(120)			○	
			III	2(60)				2(60)	○	
社会はり学 社会きゅう学		はりきゅう応用学		2	2(60)		2(60)			
実 習		基礎はり実習			2(60)	2(60)			○	
		基礎きゅう実習			2(60)	2(60)			○	
		応用はりきゅう実習Ⅰ			2(60)		2(60)		○	
		応用はりきゅう実習Ⅱ			2(60)		2(60)		○	
		臨床はりきゅう実習Ⅰ			2(60)		2(60)		○	
		臨床はりきゅう実習Ⅱ *4			4(120)		4(120)		○	
		応用はりきゅう実技Ⅲ			2(60)			2(60)		
臨床実習		臨床実習		4	4(180)			4(180)	○	
総合領域	はりきゅう総合	I	2(60)			2(60)	○			
		II*5	2(60)			2(60)	○			
		III	2(60)			2(60)	○			
		IV	2(60)			2(60)				
		V	2(60)			2(60)	○			
小 計		53	55(1710)	10(300)	26(780)	19(630)				
合 計		94	98(2820)	35(870)	35(1050)	28(900)				

*1 コミュニケーション含む *2 運動学含む *3 はり及びきゅうの適応の判断含む *4 臨床実習前試験含む *5 はり及びきゅうの歴史含む

科目名： 解剖学Ⅱ（前期）

授業形態： 講義

担当教員： 崎野 雄樹

通年2単位

【授業概要】 人体の形態と構造を復習し、知識を確実なものにする。

- 【到達目標】
1. 臨床常必要となる骨格系・筋肉、神経・血管組織の構造を確実なものにする。
 2. 解剖学の知識を細胞レベルから学び、説明できるようになる。
 3. 局所解剖学の知識を学び、部位ごとの組織を理解する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	循環器系①	崎野
2	循環器系②	崎野
3	循環器系③	崎野
4	循環器系④	崎野
5	中枢神経系①	崎野
6	中枢神経系②	崎野
7	中枢神経系③	崎野
8	末梢神経系①	崎野
9	骨学：頭部（頭蓋骨）	崎野
10	骨学：体幹部/筋学：体幹部	崎野
11	骨学：上肢部	崎野
12	骨学：下肢部	崎野
13	筋学：頭頸部	崎野
14	筋学：上肢部	崎野
15	筋学：下肢部	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）
 復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「解剖学」（医歯薬出版）

【参考図書】 「人体の正常構造と機能」（日本医事新報社） 「プロメテウス解剖学コアアトラス」（医学書院）

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 解剖学Ⅱ（後期）

授業形態： 講義

担当教員： 崎野 雄樹

通年2単位

【授業概要】 人体の形態と構造を復習し、知識を確実なものにする。

- 【到達目標】
1. 臨床常必要となる骨格系・筋肉、神経・血管組織の構造を確実なものにする。
 2. 解剖学の知識を細胞レベルから学び、説明できるようになる。
 3. 局所解剖学の知識を学び、部位ごとの組織を理解する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	消化器系①	崎野
2	消化器系②	崎野
3	消化器系③	崎野
4	細胞・組織学	崎野
5	呼吸器系①	崎野
6	呼吸器系②	崎野
7	泌尿器系	崎野
8	生殖器系①	崎野
9	生殖器系②	崎野
10	内分泌系①	崎野
11	内分泌系②	崎野
12	感覚器系①	崎野
13	感覚器系②	崎野
14	総括	崎野
15	総括	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）
 復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「解剖学」（医歯薬出版）

【参考図書】 「人体の正常構造と機能」（日本医事新報社） 「プロメテウス解剖学コアアトラス」（医学書院）

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 生理学Ⅱ（前期）

授業形態： 講義

担当教員： 小濱 公次

通年2単位

【授業概要】 教科書や資料を用いて復習し、生理学的知識を確実なものにする。

【到達目標】 生体の機能を再度見直し、確実な知識にする。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	生理学の基礎（細胞、体液、物質の移動、ホメオスタシス）	小濱
2	血液①（血漿、赤血球・血小板の機能）	小濱
3	血液②（白血球、リンパ球、生体防御、血液型）	小濱
4	循環①（心臓の機能：刺激伝導系、心電図）	小濱
5	循環②（心周期、循環の調節）	小濱
6	呼吸①（呼吸のメカニズム）	小濱
7	呼吸②（呼吸の調節）	小濱
8	栄養と代謝①（五大栄養素の働き）	小濱
9	栄養と代謝②（栄養素とエネルギー代謝）	小濱
10	消化と吸収①（消化液の働きと調節）	小濱
11	消化と吸収②（消化管の運動）	小濱
12	消化と吸収③（吸収について）	小濱
13	排泄①（腎臓の働き、尿の生成）	小濱
14	排泄②（畜尿と排尿）	小濱
15	体温（体温調節と発汗）	小濱
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）
復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「生理学」（医歯薬出版）

【参考図書】 「カラー人体解剖学」（西村書店） 「病気がみえる」シリーズ」（メディックメディア）

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 生理学Ⅱ（後期）

授業形態： 講義

担当教員： 小濱 公次

通年2単位

【授業概要】 教科書や資料を用いて復習し、生理学的知識を確実なものにする。

【到達目標】 生体の機能を再度見直し、確実な知識にする。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	内分泌①（ホルモンの特徴）	小濱
2	内分泌②（各ホルモンの働き）	小濱
3	内分泌③（各ホルモンの働き）	小濱
4	生殖、成長と老化（生殖器の機能、成長と老化）	小濱
5	神経①（ニューロンの構造と働き、活動電位）	小濱
6	神経②（伝導と伝達）	小濱
7	神経③（中枢神経系：脳）	小濱
8	神経④（中枢神経系：脊髄）	小濱
9	神経⑤（末梢神経系：脊髄神経・脳神経）	小濱
10	神経⑥（末梢神経系：自律神経）	小濱
11	筋（骨格筋の構造と働き・筋収縮・各筋の種類）	小濱
12	運動①（骨格筋の神経支配、筋紡錘と腱紡錘）	小濱
13	運動②（運動の調節）	小濱
14	感覚①（一般感覚）	小濱
15	感覚②（特殊感覚）	小濱
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）
復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「生理学」（医歯薬出版）

【参考図書】 「カラー人体解剖学」（西村書店） 「病気がみえる」シリーズ」（メディックメディア）

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 臨床医学各論Ⅱ（前期）

授業形態： 講義

担当教員： 保坂 秀樹

通年2単位

【授業概要】 症状・病態を理解するため、必要な解剖・生理を勉強したうえで、疾患の詳細を学習し、複雑かつ多様化した現代の疾病構造を捉える。

【到達目標】 臨床時、患者様に疾患の病態を説明できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	整形外科疾患（総論、関節疾患）	保坂
2	整形外科疾患（骨代謝性疾患・骨腫瘍、筋・腱疾患）	保坂
3	整形外科疾患（形態異常）	保坂
4	整形外科疾患（脊椎疾患）	保坂
5	整形外科疾患（脊髄損傷、外傷）	保坂
6	整形外科疾患（その他）	保坂
7	神経疾患（脳血管疾患、感染性疾患）	保坂
8	神経疾患（脳・脊髄腫瘍、変性疾患）	保坂
9	神経疾患（認知症性疾患、筋疾患）	保坂
10	神経疾患（末梢神経性疾患）	保坂
11	神経疾患（神経痛）	保坂
12	神経疾患（機能性疾患）	保坂
13	呼吸器疾患（解剖）	保坂
14	呼吸器疾患（感染性・閉塞性疾患）	保坂
15	呼吸器疾患（拘束性疾患、その他）	保坂
16	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）
復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「臨床医学各論」（医歯薬出版）配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上

科目名： 臨床医学各論Ⅱ（後期）

授業形態： 講義

担当教員： 保坂 秀樹

通年2単位

【授業概要】 症状・病態を理解するため、必要な解剖・生理を勉強したうえで、疾患の詳細を学習し、複雑かつ多様化した現代の疾病構造を捉える。

【到達目標】 臨床時、患者様に疾患の病態を説明できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	肝・胆・膵疾患（解剖）	保坂
2	肝・胆・膵疾患（各種疾患）	保坂
3	腎・泌尿器・生殖器疾患（解剖）	保坂
4	腎・泌尿器・生殖器疾患（腎・泌尿器疾患）	保坂
5	腎・泌尿器・生殖器疾患（生殖器疾患）	保坂
6	内分泌疾患（解剖）	保坂
7	内分泌疾患（下垂体・甲状腺疾患）	保坂
8	内分泌疾患（副腎疾患）	保坂
9	代謝・栄養疾患（糖・脂質代謝疾患）	保坂
10	代謝・栄養疾患（尿酸・金属代謝疾患、その他）	保坂
11	皮膚・頭頸部疾患（皮膚疾患）	保坂
12	皮膚・頭頸部疾患（眼科・耳鼻咽喉科疾患）	保坂
13	精神・心身医学的疾患①	保坂
14	精神・心身医学的疾患②	保坂
15	小児疾患	保坂
16	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）
復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「臨床医学各論」（医歯薬出版）配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上

【授業概要】 はり師・きゅう師が業務に従事するうえで理解しておくべき法令について学習する。

【到達目標】 各々の法律について理解を深める。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	あ・ま・指圧師、はり師、きゅう師等に関する法制度の沿革	益山
2	免許について 総論、各論	益山
3	国家試験の受験資格、手続き、科目等について	益山
4	施術・施術者に関する法律、規則、罰則等について	益山
5	施術所に関する法律、規則、罰則等について	益山
6	広告、業務の停止、無免許営業の取締りの法律、規則、罰則等について	益山
7	医業類似行為業についての沿革、法律、規則、罰則等について	益山
8	学校、養成施設、指定試験機関についての法律、規則、罰則等について	益山
9	審議会及び試験委員の法的権限、規則、罰則等について	益山
10	医事法規と医療制度、医療法、医師法の概要	益山
11	その他の医療従事者に関する法律の概要	益山
12	薬事法規、衛生関係法規の概要	益山
13	社会福祉関係法規、社会保険関係法規の概要	益山
14	その他の関係法規	益山
15	厚生労働省への照会・回答、裁判の判例について	益山
16	定期試験	益山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「関係法規」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 医療概論(後期)

授業形態： 講義

担当教員： 川畑 亜矢子

1単位

【授業概要】 現代の医療や古代の医療など、広く人間の生命の維持、医療倫理その法規などの広範囲に学ぶ教科である。

【到達目標】 先人の医療の歴史を学び、培われた倫理観を掌握する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	医学史序説	川畑
2	医学史の意義と特質	川畑
3	西洋医学と医療の歴史	川畑
4	西洋医学と医療の歴史	川畑
5	東洋医学の医療と歴史	川畑
6	東洋医学の医療と歴史	川畑
7	東洋医学の医療と歴史	川畑
8	日本の医学と医療の歴史	川畑
9	日本の医学と医療の歴史	川畑
10	日本の医学と医療の歴史	川畑
11	現代医学の課題	川畑
12	現代の医療制度	川畑
13	東洋医学の医療と歴史	川畑
14	医療倫理	川畑
15	施術者としての倫理	川畑
16	定期試験	川畑

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、解剖学・生理学の復習を行っておくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「医療概論」(医歯薬出版)

【参考図書】 「関係法規」(医歯薬出版)

【評価基準】 定期試験100%

【授業概要】 鍼灸師としての社会保障制度を学び我が国の社会状況を把握する。
医療保険制度と医療提供の仕組みを学び知識を深める。

【到達目標】 医療保障制度の概要・医療提供体制の概要を理解できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	日本の現代社会について	益山
2	社会保障制度の概要	益山
3	医療保険制度①	益山
4	医療保険制度②	益山
5	診療報酬制度の仕組み①	益山
6	診療報酬制度の仕組み②	益山
7	診療報酬制度の仕組み③	益山
8	鍼灸施術に係る制度①	益山
9	鍼灸施術に係る制度②	益山
10	医療提供体制の仕組み①	益山
11	医療提供体制の仕組み②	益山
12	医療提供体制の仕組み③	益山
13	介護保険制度の仕組み①	益山
14	介護保険制度の仕組み②	益山
15	総括	益山
16	定期試験	益山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 鍼灸臨床において、主訴として相談されることが想定される症状であるが、どういう疾患が潜んでいるのか、どういうことに気をつけなければならないかを知り、レッドフラッグを見分けられるよう医学的知識を習得する。

【到達目標】 解剖学・生理学の知識を踏まえ、各症状が起こるメカニズムを理解し、患者さんへ説明ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	病態生理の基礎知識	崎野
2	皮膚・体温調節のしくみとその異常	崎野
3	免疫による防御のしくみとその異常	崎野
4	血液の働きとそのしくみ	崎野
5	循環のしくみとその異常	崎野
6	呼吸のしくみとその異常	崎野
7	消化・吸収のしくみとその異常	崎野
8	腎・泌尿器の働きとその異常	崎野
9	内分泌・代謝のしくみとその異常	崎野
10	生殖のしくみとその異常	崎野
11	脳・神経・筋の働きとその異常	崎野
12	感覚器の働きとその異常	崎野
13	治療学	崎野
14	臨床心理	崎野
15	総括	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「臨床医学総論」(医歯薬出版)「臨床医学各論」(医歯薬出版)「解剖学」(医歯薬出版)「生理学」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 東洋医学臨床論Ⅲ（前期）

授業形態： 講義

担当教員： 住吉 光輝

通年2単位

【授業概要】 鍼灸の基礎知識及び治効の機序について復習し、知識を確実なものにする。

【到達目標】 鍼灸施術の意義や理論についての理解を深める。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	鍼の基礎知識、刺鍼の方式・術式、特殊鍼法	住吉
2	灸の基礎知識、灸術の種類	住吉
3	鍼灸の臨床応用	住吉
4	リスク管理（鍼療法の過誤と副作用）	住吉
5	リスク管理（灸療法の過誤と副作用）	住吉
6	リスク管理（感染症対策）	住吉
7	感覚の受容と伝導（痛み感覚の受容と伝導）	住吉
8	感覚の受容と伝導（温度感覚・触圧感覚の受容と伝達）	住吉
9	鍼灸刺激と反射	住吉
10	鍼鎮痛、鍼灸施術の治療的作用	住吉
11	鍼灸療法の一般治効理論（自律神経系の反応）	住吉
12	鍼灸療法の一般治効理論（軸索反射、炎症反応）	住吉
13	鍼灸療法の一般治効理論（生体防御機構に及ぼす鍼灸治療の影響）	住吉
14	関連学説	住吉
15	総括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）
復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「はりきゅう理論」（医道の日本社）

【参考図書】 「鍼灸安全ガイドライン」（医歯薬出版） 「生理学」（医歯薬出版）

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 東洋医学臨床論Ⅲ（後期）

授業形態： 講義

担当教員： 住吉 光輝

通年2単位

【授業概要】 経脈の走行や経穴の特性、取穴部位および相関する解剖学的知識について復習し、知識を確実なものにする。

【到達目標】 経脈の走行や経穴の特性、取穴部位および相関する解剖学的知識についての理解を深める。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	経絡の概要・経絡流注・骨度法	住吉
2	特定穴	住吉
3	特定穴	住吉
4	経穴の部位・取穴法（頭頸部）	住吉
5	経穴の部位・取穴法（体幹部）	住吉
6	経穴の部位・取穴法（上肢部）	住吉
7	経穴の部位・取穴法（上肢部）	住吉
8	経穴の部位・取穴法（下肢部）	住吉
9	経穴の部位・取穴法（下肢部）	住吉
10	経穴の部位・取穴法（特定穴）	住吉
11	筋・神経及び動脈に相関する経穴（頭頸部・体幹部）	住吉
12	筋・神経及び動脈に相関する経穴（頭頸部・体幹部）	住吉
13	筋・神経及び動脈に相関する経穴（上肢部・下肢部）	住吉
14	筋・神経及び動脈に相関する経穴（上肢部・下肢部）	住吉
15	総括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）
復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「新版 経絡経穴概論」（医道の日本社）

【参考図書】 「解剖学」（医歯薬出版） 「東洋医学概論」（医道の日本社）

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 応用はりきゅう実技Ⅲ(前期)

授業形態： 実習

担当教員： 大竹 秀信

通年2単位

【授業概要】 運動器疾病に対する鍼手技および現代鍼灸療法の基盤を形成することを目的とする。
各運動器疾患に対する現代医学的あるいは東洋医学的アプローチを学ぶ。

【到達目標】 頸肩部および上肢の運動器疾患に対する西洋医学的あるいは東洋医学的鍼灸治療を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	運動器疾患:頸肩部あるいは頸肩 上肢の痛みに対する鍼灸	大竹
2	運動器疾患:頸肩部あるいは頸肩 上肢の痛みに対する鍼灸	大竹
3	運動器疾患:頸肩部あるいは頸肩 上肢の痛みに対する鍼灸	大竹
4	運動器疾患:頸肩部あるいは頸肩 上肢の痛みに対する鍼灸	大竹
5	運動器疾患:頸肩部あるいは頸肩 上肢の痛みに対する鍼灸	大竹
6	運動器疾患:肩関節の痛みに対する鍼灸	大竹
7	運動器疾患:肩関節の痛みに対する鍼灸	大竹
8	運動器疾患:肩関節の痛みに対する鍼灸	大竹
9	運動器疾患:肩関節の痛みに対する鍼灸	大竹
10	運動器疾患:肘関節の痛みに対する鍼灸	大竹
11	運動器疾患:肘関節の痛みに対する鍼灸	大竹
12	運動器疾患:肘関節の痛みに対する鍼灸	大竹
13	運動器疾患:手部の痛みに対する鍼灸	大竹
14	運動器疾患:手部の痛みに対する鍼灸	大竹
15	運動器疾患:手部の痛みに対する鍼灸	大竹
16	定期試験	大竹

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「スポーツ鍼灸臨床マニュアル」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名： 応用はりきゅう実技Ⅲ(後期)

授業形態： 実習

担当教員： 大竹 秀信

通年2単位

【授業概要】 運動器疾病に対する鍼手技および現代鍼灸療法の基盤を形成することを目的とする。
各運動器疾患に対する現代医学的あるいは東洋医学的アプローチを学ぶ。

【到達目標】 胸部・背部・腰部および下肢の運動器疾患に対する西洋医学的あるいは東洋医学的鍼灸治療を習得する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	運動器疾患:胸部・背部の痛みに対する鍼灸	大竹
2	運動器疾患:胸部・背部の痛みに対する鍼灸	大竹
3	運動器疾患:胸部・背部の痛みに対する鍼灸	大竹
4	運動器疾患:腰部・殿部・腰下肢の痛みに対する鍼灸	大竹
5	運動器疾患:腰部・殿部・腰下肢の痛みに対する鍼灸	大竹
6	運動器疾患:腰部・殿部・腰下肢の痛みに対する鍼灸	大竹
7	運動器疾患:腰部・殿部・腰下肢の痛みに対する鍼灸	大竹
8	運動器疾患:股関節の痛みに対する鍼灸	大竹
9	運動器疾患:股関節の痛みに対する鍼灸	大竹
10	運動器疾患:股関節の痛みに対する鍼灸	大竹
11	運動器疾患:膝の痛みに対する鍼灸	大竹
12	運動器疾患:膝の痛みに対する鍼灸	大竹
13	運動器疾患:膝の痛みに対する鍼灸	大竹
14	運動器疾患:下腿・足部の痛みに対する鍼灸	大竹
15	運動器疾患:下腿・足部の痛みに対する鍼灸	大竹
16	定期試験	大竹

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「スポーツ鍼灸臨床マニュアル」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【授業概要】 学習したことを基礎として、外来患者への施術を行う。

【到達目標】 外来患者への施術を通して、臨床技術だけでなく、医療従事者としての心構えや患者様への対応なども身に付ける。
臨床に対する知識・技術向上のため、常に自分へ目標や課題を設けて実習に取り組む。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1~4	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
5~8	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
9~12	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
13~16	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
17~20	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
21~24	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
25~28	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
29~32	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
33~36	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
37~40	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
41~44	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
45~48	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
49~52	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
53~56	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
57~60	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
61~64	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
65~68	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
69~72	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
73~76	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
77~80	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
81~84	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
85~88	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
89~92	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
93~96	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
97~100	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
101~104	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
105~108	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
109~112	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
113~116	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
117~120	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
121	症例報告	住吉・原

【授業外学修】 予習:実習に臨む前に、カルテや該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:実習内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】

【参考図書】

【評価基準】

症例報告60% レポート20% 実習態度20%

【実務経験】

病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： はりきゅう総合 I (前期)

授業形態： 講義

担当教員： 川畑 亜矢子

通年2単位

【授業概要】 国家試験において教科書を中心に復習し、知識を確実なものにする。

【到達目標】 病気を説明するうえで必要な科目であるため、自覚を持って学習し、適切な説明ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	疾病の一般、疾病の概念、疾病の分類	川畑
2	病因①(病因の一般、内因・外因)	川畑
3	病因②(外因)	川畑
4	免疫異常・アレルギー①(免疫のメカニズム)	川畑
5	免疫異常・アレルギー②(アレルギー、免疫不全)	川畑
6	炎症①(炎症の一般、炎症の分類)	川畑
7	炎症②(炎症の分類)	川畑
8	進行性病変①(再生、化生、肥大、増殖)	川畑
9	進行性病変②(創傷治癒、組織内異物の処理、移植)	川畑
10	退行性病変①(萎縮、変性、壊死と死)	川畑
11	循環障害①(虚血、梗塞、血栓症、塞栓症)	川畑
12	循環障害②(出血、充血、うっ血、浮腫、ショック)	川畑
13	腫瘍①(腫瘍の一般)	川畑
14	腫瘍②(良性腫瘍、悪性腫瘍)	川畑
15	先天性異常(遺伝子疾患、染色体異常)	川畑
16	定期試験	川畑

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「病理学概論」(医歯薬出版)

【参考図書】 「PT・OT 基礎から学ぶ病理学ノート」(医歯薬出版) 「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 定期試験100%

科目名： はりきゅう総合 I (後期)

授業形態： 講義

担当教員： 原 奈摘美

通年2単位

【授業概要】 国家試験において教科書を中心に復習し、衛生学・公衆衛生学の理解を深める。

【到達目標】 近年の衛生学・公衆衛生学の内容やその変遷を学び理解を深める。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	衛生学・公衆衛生学の意義	原
2	健康(健康の概要、健康管理)	原
3	ライフスタイルと健康(食品と栄養、運動と健康)	原
4	環境と健康(環境とは、日常生活環境)	原
5	環境と健康(環境問題)	原
6	産業保健(意義、行政、労働環境と健康、対策)	原
7	精神保健(意義、精神の健康、現状と分類)	原
8	母子保健(意義、母体・乳幼児の健康、少子化問題)	原
9	成人・高齢者保健(意義、加齢と老化、生活習慣病の特徴と対策、高齢者の保健福祉対策、介護保険)	原
10	感染症とその対策(種類、発生要因)	原
11	感染症とその対策(感染症の予防の原則、免疫)	原
12	消毒法(消毒法の一般、消毒の種類、消毒の実際、医療廃棄物)	原
13	疫学(概念、測定、調査研究)	原
14	保健統計(意義、主要な保健統計)	原
15	総括	原
16	定期試験	原

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「衛生学・公衆衛生学」(医歯薬出版)

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： はりきゅう総合Ⅱ（前期）

授業形態： 講義

担当教員： 崎野 雄樹

通年2単位

【授業概要】 国家試験において、2年生で学習した内容を復習し、理解を深める。

【到達目標】 リハビリテーション医学の本質を学び、疾患別に異なる方法を理解する。また、リハビリ領域の職業を理解する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	リハビリテーション医学と障害(分類・対象者)	崎野
2	障害の評価(長さ・MMT・ROM 他)	崎野
3	医学的リハビリテーション(POSの特徴)	崎野
4	脳血管障害(概要とリハビリテーション)	崎野
5	脊髄損傷(概要とリハビリテーション)	崎野
6	切断・小児(概要とリハビリテーション)	崎野
7	骨関節疾患(概要とリハビリテーション)	崎野
8	リウマチ・末梢神経障害(概要とリハビリテーション)	崎野
9	パーキンソン病(概要とリハビリテーション)	崎野
10	呼吸・心疾患(概要とリハビリテーション)	崎野
11	運動学の基礎(伝導路・歩行周期)	崎野
12	体幹・肩甲帯(解剖学)	崎野
13	上肢(解剖学)	崎野
14	下肢(解剖学)	崎野
15	総括	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「リハビリテーション医学」(医歯薬出版)
【参考図書】 「リハビリテーション医学」(南江堂) 「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)
【評価基準】 定期試験100%
【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： はりきゅう総合Ⅱ（後期）

授業形態： 講義

担当教員： 小濱 公次・原 奈摘美

通年2単位

【授業概要】 鍼灸治療の基礎となる東洋医学について復習し、さらに知識を深める。
東西両医学の観点から鍼灸臨床を理論的に想定し、確かな治療力を養う。

【到達目標】 東洋医学の基礎及び診察法・治療法の習得に努める。
臨床において必要な東西両医学の知識及び治療法の習得に努める。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	伝統医学の基礎(陰陽論・五行論)	小濱
2	気・血・津液の生理	小濱
3	六臓六腑・臟腑経絡論	小濱
4	病因論	小濱
5	病理・病症	小濱
6	東洋医学的診察法と証の立て方	小濱
7	治療法	小濱
8	まとめ	小濱
9	東洋医学的病態把握	原
10	東洋医学的治療・選穴(その他の治療・選穴・配穴法)	原
11	西洋医学的病態把握	原
12	西洋医学的治療・選穴(各部の局所治療)	原
13	西洋医学的治療・選穴(スポーツ鍼灸)	原
14	東・西洋医学的治療・選穴(老年医学・複合問題)	原
15	東・西洋医学的治療・選穴(複合問題)	原
16	定期試験	原

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学概論」(医道の日本社)「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」(医道の日本社)「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)
【参考図書】 「鍼灸学[基礎編]」(東洋学術出版社)「スポーツ鍼灸臨床マニュアル」(医歯薬出版)
【評価基準】 定期試験100%
【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： はりきゅう総合Ⅲ(前期)

授業形態： 講義

担当教員： 益山 智哉

通年2単位

【授業概要】 国家試験において教科書を中心に復習し、知識を確実なものにする。

【到達目標】 臨床において必要な科目である。各項目を十分に理解する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	診察の概要(意義、関連用語の理解)	益山
2	診察の方法①(医療面接)	益山
3	診察の方法②(視診、触診、打診、聴診)	益山
4	診察の方法③(測定法、神経系の診察)	益山
5	生命徴候(バイタルサイン)①(体温、脈拍)	益山
6	生命徴候(バイタルサイン)②(血圧、呼吸)	益山
7	全身の診察①(顔貌、精神状態、言語)	益山
8	全身の診察②(身体測定、体型、栄養状態)	益山
9	全身の診察③(姿勢、歩行、皮膚)	益山
10	全身の診察④(爪、リンパ節、その他の一般的状態)	益山
11	局所の診察①(頭部、顔面、眼、鼻)	益山
12	局所の診察②(耳、口腔、頸部)	益山
13	局所の診察③(胸部、乳房、肺、心臓)	益山
14	局所の診察④(腹部、背部、四肢)	益山
15	総括	益山
16	定期試験	益山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「臨床医学総論」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： はりきゅう総合Ⅲ(後期)

授業形態： 講義

担当教員： 益山 智哉

通年2単位

【授業概要】 国家試験において教科書を中心に復習し、知識を確実なものにする。

【到達目標】 臨床において必要な科目である。各項目を十分に理解する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	循環器疾患(心不全・僧帽弁狭窄症)	益山
2	循環器疾患(僧帽弁閉鎖不全症・僧帽弁逸脱症候群・大動脈弁狭窄症)	益山
3	循環器疾患(大動脈弁閉鎖不全症・不整脈・心房細動)	益山
4	循環器疾患(心室中隔欠損症・心房中隔欠損症)	益山
5	循環器疾患(狭心症・心筋梗塞)	益山
6	循環器疾患(動脈硬化・大動脈瘤)	益山
7	循環器疾患(大動脈解離・高血圧・低血圧)	益山
8	血液・造血器疾患(鉄欠乏性貧血・巨赤芽球貧血)	益山
9	血液・造血器疾患(溶血性貧血・再生不良性貧血)	益山
10	血液・造血器疾患(白血病・成人T細胞白血病)	益山
11	血液・造血器疾患(悪性リンパ腫・バーキットリンパ腫)	益山
12	血液・造血器疾患(紫斑病・血友病)	益山
13	膠原病(関節リウマチ・全身性エリテマトーデス)	益山
14	膠原病(全身性硬化症・ベーチェット病)	益山
15	膠原病(多発性筋炎・血清病)	益山
16	定期試験	益山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「臨床医学各論」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： はりきゅう総合Ⅳ(前期)

授業形態： 講義・実習

担当教員： 宮内 真喜子

通年2単位

【授業概要】 美顔鍼に対する基礎知識と技術を学び、EBMに基づいた治療の探求と訓練を行う。
また併用する手技を学び、治療の幅を広げる。

【到達目標】 東洋医学的観点と現代医学的観点から「美」を捉え、患者様に「満足」「安心」「安全」な治療が出来るようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	美顔鍼概論	宮内
2	美顔鍼理論①(気血津液と美容)	宮内
3	美顔鍼理論②(五臓の生理と美容)	宮内
4	美顔鍼理論③(東洋医学の体質分類と美容)	宮内
5	美顔鍼理論④(現代医学と美容)	宮内
6	頭顔面部の解剖学	宮内
7	美顔鍼各論①(しわ・たるみ)	宮内
8	美顔鍼各論②(顔色・くすみ・クマ)	宮内
9	美顔鍼各論③(乾燥肌・ニキビ・アトピー)	宮内
10	リスクと注意点	宮内
11	同意書・インフォームドコンセント	宮内
12	診察法	宮内
13	美顔率	宮内
14	頭顔面部の主要経穴	宮内
15	総括	宮内
16	定期試験	宮内

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名： はりきゅう総合Ⅳ(後期)

授業形態： 講義・実習

担当教員： 宮内 真喜子

通年2単位

【授業概要】 美顔鍼に対する基礎知識と技術を学び、EBMに基づいた治療の探求と訓練を行う。
また併用する手技を学び、治療の幅を広げる。

【到達目標】 東洋医学的観点と現代医学的観点から「美」を捉え、患者様に「満足」「安心」「安全」な治療が出来るようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	傾聴力(共感の言葉の基礎知識と実践練習)	宮内
2	傾聴力まとめ・実践練習	宮内
3	意図を読み取るスキル	宮内
4	話す力(目的に応じた話し方)	宮内
5	話す力(聞き手に伝わる話し方)	宮内
6	話す力(治療家と患者の信頼関係の作り方)	宮内
7	話す力(4つの質問と3つの説明)	宮内
8	敬語	宮内
9	電話応対	宮内
10	茶菓接待	宮内
11	履歴書の書き方	宮内
12	就職面接(面接の種類と基礎的マナー)	宮内
13	就職面接(よく聞かれる質問)	宮内
14	就職面接(実践練習)	宮内
15	就職面接(実践練習)	宮内
16	定期試験	宮内

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名： はりきゅう総合Ⅴ(前期)

授業形態： 講義・実習

担当教員： 小濱 公次

通年2単位

【授業概要】 実際の臨床を想定し、古典鍼灸医術に基づいた診断法、治療法を学ぶ。

【到達目標】 1. 鍼灸手技の習得、症候からの治療法の習得に努める。
2. 症例をもとに診断、鑑別が行えるようにする。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	導入・総論、現在の習熟度の確認	小濱
2	痛くない切皮・弾入(押手)	小濱
3	痛くない切皮・弾入(刺手)	小濱
4	補瀉法	小濱
5	診察法(切診・背候診)	小濱
6	診察法(切診・腹診)	小濱
7	診察法(切診・脈診)	小濱
8	診察法(望診)	小濱
9	寒熱八証	小濱
10	寒熱八証	小濱
11	寒熱八証	小濱
12	寒熱八証	小濱
13	灸法(透熱灸・糸状灸)	小濱
14	灸法(知熱灸)	小濱
15	総括	小濱
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」(医道の日本社)「はりきゅう基礎技術学」(南江堂)「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)

【参考図書】 「日本鍼灸医学(経絡治療・基礎編)」(経絡治療学会)「日本鍼灸医学(経絡治療・臨床編)」(経絡治療学会)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： はりきゅう総合Ⅴ(後期)

授業形態： 講義・実習

担当教員： 小濱 公次

通年2単位

【授業概要】 実際の臨床を想定し、古典鍼灸医術に基づいた診断法、治療法を学ぶ。

【到達目標】 1. 鍼灸手技の習得、症候からの治療法の習得に努める。
2. 症例をもとに診断、鑑別が行えるようにする。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	刺さない鍼(小児鍼など)	小濱
2	刺さない鍼(散鍼など)	小濱
3	灸頭鍼	小濱
4	頸・肩・上肢周辺の疾患①	小濱
5	頸・肩・上肢周辺の疾患②	小濱
6	頭顔面部の疾患①	小濱
7	頭顔面部の疾患②	小濱
8	腰部・下肢の疾患①	小濱
9	腰部・下肢の疾患②	小濱
10	胸部・腹部の疾患①	小濱
11	胸部・腹部の疾患②	小濱
12	その他の疾患(皮膚の病)	小濱
13	その他の疾患(精神神経系の病)	小濱
14	その他の疾患(婦人の病)	小濱
15	総括	小濱
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」(医道の日本社)「はりきゅう基礎技術学」(南江堂)「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)

【参考図書】 「日本鍼灸医学(経絡治療・基礎編)」(経絡治療学会)「日本鍼灸医学(経絡治療・臨床編)」(経絡治療学会)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 病院または治療院における臨床5年以上